

一般会計は298.1億円で前年度比1.5%の増に

命山・津波避難タワー建設、子ども医療費助成拡大、新学校給食センター整備へ

平成24年度はこども手当が子どものための手当に変更され3.8億円の減額、しかし防災対策の各種事業や新学校給食センター、袋井駅南北自由通路新設事業の本格化に伴い一般会計は298億1千万円前年度より4億4千万円増となりました。特別会計は158億7600万円(4.7%増)、企業会計は84億2770万円(0.5%増)、総額では541億1370万円(2.2%増)となりました。「未来につなぐ確かな一歩」をキャッチフレーズに、「未来へおくる安心・安全」、「生涯にわたる健康づくり」「きめ細やかな子育て支援」「新たな活力を生み出す産業創造」「袋井発の魅力を伝える観光交流」「自然の恵みを活かす新エネルギー促進」の6つを重点戦略と位置づけ取り組むとしています。

歳入の主なものは

税収は、個人市民税は年少扶養控除の廃止もあって3.9%増の42億3千万円、法人税は4.1%増の12億8千万円、固定資産税は評価替えの影響により5.4%減の12億2千万円、市税全体では1.3%減の139億4千万円と見込んでいます。地方交付税は財政力指数を0.85程度と予想し、普通交付税23億円(1億円増)、特別交付税5億円(5千万円増)と見込んでいます。また、市債は学校給食センター、津波避難タワーなど大規模な建設事業により39億1千万円(27%増)となっています。

歳出の主なものは

歳出額の多い順で民生費74.7億円(2%減)、衛生費44.5億円、公債費41.1億円、教育費41億円(8.6%増)、土木費39.7億円(3.1%減)となっています。

新規・拡充の主要事業を紹介します。(額は1万円以下切捨て)

【未来へおくる安心安全】

津波避難対策事業(命山、避難タワー)	2億9300万円
液状化対策事業	390万円
幼保・小学校防災教育推進事業	85万円
家庭内家具等固定推進事業	480万円
木造住宅耐震補強助成事業	1億1700万円
避難所・救護所等整備事業	4400万円
自主防災隊資機材整備事業	3800万円
緊急地震速報受信システム維持管理事業	535万円
小中学校施設地震対策事業	6200万円

【生涯にわたる健康づくり】

家族で楽しむスポーツ推進事業	160万円
健康年齢測定事業	96万円
スローエアロビック普及事業	83万円
すまいるプログラム(糖尿病徹底予防事業)	360万円
ウォーキング普及事業	93万円
中東遠総合医療センター建設事業	3億4000万円
(仮称)総合健康センター整備事業	4700万円

【きめ細やかな子育て支援】

子ども医療費助成事業	2億6300万円
幼稚園預かり保育事業	3100万円
民間保育所運営補助事業	9億9200万円

認証保育所・認可外保育施設補助事業	6700万円
子ども発達支援トータルサポート事業	160万円
新学校給食センター整備事業	3億7000万円
特定不妊治療費助成事業	900万円
障害児放課後児童クラブ運営事業	1812万円
児童発達支援事業(早期療育センター)	920万円

【新たな活力を生み出す産業創造】

新東名利活用調査事業	250万円
新産業創出事業	100万円
6次産業化促進支援事業	230万円
袋井駅南北自由通路新設事業	4億2100万円
耕作放棄地対策事業	320万円

【袋井発の魅力を伝える観光交流】

全国育樹祭推進事業	350万円
ふくろい観光ルネッサンス事業	640万円
芸術とふれあうまちづくり事業	360万円
袋井特産品宣伝隊支援事業	130万円
袋井宿開設400年記念準備事業	50万円

【自然の恵みを活かす新エネルギー促進】

サイクルタウン研究事業	50万円
新エネルギー施策推進事業	3800万円
地域資源活用エコプロジェクト	74万円
公共施設STOP温暖化事業	1500万円

【その他】

高南小学校学区再編関連事業	3億1400万円
豊沢地区コミュニティ施設整備事業	1億2300万円
総合センター空調設備更新事業	1億2600万円
ベトナム国際親善訪問事業	339万円
生活バス路線確保対策事業	3993万円
ふくろい東京交流会事業	250万円
市税収納事務事業	5755万円
総合証明自動交付機導入事業	177万円
市営墓地公園整備事業	270万円
深見公園整備事業	129万円
三川地区公園整備事業	800万円
公園長寿命化計画策定事業	1200万円
市道太郎兵衛新道国本線改築事業	2700万円
市道東同笠油山線改築事業	1620万円
諸井山の手線改築事業	100万円